

北中だより

豊島区立巣鴨北中学校

校長 鎌田 智義

〒170-0001 豊島区西巣鴨 3-17-1

電話 3918-2144 FAX 5394-1009

心を一つに、つながる思い

副校長 宮下 政治

朝夕の風に秋の深まりを感じる季節となりました。新年度が始まり半年が過ぎ、生徒は日々の学習や学校行事、そして友達との関わりを通して、少しずつ成長を重ねています。

学校生活の中で大切にしたいことのひとつに、「あいさつ」があります。残念なことに朝、昇降口で「おはようございます」と声をかけてもなかなかあいさつが戻ってこないことが多いです。あいさつに気付いてこちらを見るのですが、そのまま階段を上がって行ってしまう場面もあります。また、階段ですれ違う時にあいさつをしても、そのまま通りすぎる人もいます。

朝、登校してきた生徒の「おはようございます」という声や廊下ですれ違うときの明るいあいさつは、学校の雰囲気を温かくしてくれます。あいさつは、単なる言葉のやり取りではありません。相手の存在を認め、自分から心を開き、「あなたを大切に思っています」という気持ちを伝える行動でもあります。

そして、あいさつの根底にあるのが「思いやり」の心です。相手の立場に立って考えること、困っている人に気付いて声をかけること、友達の話に耳を傾けること。こうした何気ない行動の一つひとつが互いを尊重し、安心して過ごせる学校づくりにつながります。思いやりは、特別なことをすることだけではなく、日々の生活の中で相手を気遣う小さな行動から育まれていくものです。

もちろん、いつも相手の気持ちを理解できるとは限りません。自分と考え方が違うこともあるでしょう。そのようなときこそ、相手の話をよく聞き、自分とは異なる考えも受け止めようとする姿勢が大切です。自分からあいさつをすること、相手の気持ちを想像すること。その積み重ねが、互いの信頼を深め、よりよい人間関係を築いていきます。

さて、今月24日（土）に実施されるれんが祭（舞台の部）に向けて、各学級で練習に励む姿が見られます。

合唱は、一人ひとりの声が集まり、一つの音楽をつくり上げる活動です。自分の声だけを響かせようとしてもすばらしい合唱にはなりません。仲間の声に耳を傾け、互いの声を聴き合い、気持ちを合わせることで、学級ならではの美しいハーモニーが生まれます。そこには、相手を認め、尊重し、心を通わせるという「思いやり」が欠かせません。

練習の過程では、意見がぶつかったり、思うように歌えず悩んだりすることもあるでしょう。そんなとき、仲間の考えを受け止めたり、励ましの言葉をかけたりすることが、学級の絆を深めていきます。そこに、日頃から交わす「おはようございます」「ありがとう」「大丈夫？」といったあいさつや言葉も互いの心をつなぐ大切なきっかけとなります。何気ない一言が安心感を生み、相手を思いやる気持ちを育てます。

本番のステージで響く歌声には、これまでの努力と仲間への思いが込められていることでしょう。一人ひとりの声が重なり合うように、互いを思いやる心も重なり合い、温かい学校の輪が広がっていくことを願っています。

【3年 起業家教育プログラム お茶販売会】

9月26日(土)の土曜授業公開でお茶の販売会を行いました。東京都の起業家教育プログラム(東京都では、2030年度までに都内の開業率12%の達成に向け、起業家の裾野を拡大するために、将来小中学生が仕事を選ぶ際に、「起業」が選択肢の一つになるよう支援する取組)を活用し、生徒たちが班ごとにお茶の会社の設立、商品開発、販売、そして実際に巣鴨信用金庫が間に入り融資や決算まで体験することができました。また、保護者や地域の方々にはお茶を購入していただきありがとうございました。おかげさまで完売しました。



会社の概要や販売するお茶のコンセプトなど紹介しました。



【6組 職場調査学習】



9月30日(水)に勝どきにある「リクルート・オフィス・サポート」を訪問しました。障がいを抱えた人たちでも、しっかりと役割をもって仕事している姿を見ることができ、自信や目標をもつことができましたのではないのでしょうか。また、志村学園を卒業した方も勤めていて話をきくことができました。

【3年 金沢修学旅行】



10月8日(木)から10日(土)の2泊3日で、福井・金沢方面へ修学旅行に行ってきました。(校長)

私も夏休みに東尋坊や永平寺、金沢城、兼六園、石浦神社、近江町市場、白川郷に行ってきました。(副校長)



10月24日(土)にれんが祭(舞台の部)が開催されます。保護者の皆さま、地域の皆さまの来場をお待ちしております。子どもたちの素晴らしい歌声をお聴きください。